

産業イノベーション人材育成等に資する高等学校等教育改革促進事業 に係る施設整備サウンディング型市場調査の結果について

令和 8 年 9 月 8 日
宮崎県教育庁高校教育課

1 サウンディングの実施の経緯

本県においては、国が創設した高等学校教育改革促進基金に基づき実施されている「産業イノベーション人材育成等に資する高等学校等教育改革促進事業」により、都城農業高等学校及び宮崎大宮高等学校において、国補助金を活用した産業イノベーション人材育成等に係る高等学校等教育改革に取り組むこととなりました。

この取組における各高等学校の施設整備については、令和 11 年 3 月までに取組内容に係る教育が開始されることが条件とされているため、令和 10 年 12 月までに施設の新設や改修、撤去を行う必要があります。

このことから、今般の施設整備に当たっては、全体工期の短縮が図られる設計施工一括発注方式（以下「DB方式」という。）による発注とすることを検討しているところです。

つきましては、DB方式による事業者を募るにあたり、必要な条件や課題を明確にし、適正に業務を発注するため、技術や経験を有する設計者及び施工者との意見交換を行う目的でサウンディング型市場調査（以下「サウンディング」という。）を実施しましたので、その結果の概要を公表します。

2 対象用地・施設の概要

(1) 都城農業高等学校本校及び西農場、郡元農場施設整備

①計画地

〒885-0019 宮崎県都城市祝吉一丁目 5 番 1 号（学校敷地内）

②計画概要

- ・ HACCP 対応実習室、ユニバーサル仕様環境制御型温室、農産物販売・交流施設等 計 17 棟の新設、建替、改修（※施設と一体整備する必要がある設備を含む。）
- ・ 既設温室 計 4 棟の解体

(2) 都城農業高等学校三股牧場整備

①計画地

〒885-1914 宮崎県北諸県郡三股町大字蓼池 1060 番地

②計画概要

- ・ スマート畜産に対応した乳牛舎、肉牛舎、豚舎、鶏舎 計 4 棟の建替
- ・ 既設畜舎 計 6 棟の解体

(3) 宮崎大宮高等学校施設整備

①計画地

〒880-0056 宮崎県宮崎市神宮東1丁目3番10号（学校敷地内）

②計画概要

- ・大ホール及び実験室等を備えた2階建て理数探究スタジオの新設
- ・既設テニスコートの移設

3 スケジュール

実施要領の公表	令和8年8月6日（木）
サウンディング参加申込期限	令和8年8月24日（月）正午
サウンディング実施日時	令和8年8月18日（火）から 令和8年9月1日（火）まで

4 サウンディングの参加者

サウンディングの参加者は下記14社であった。

NO.	企業名	本店所在地
1	株式会社増田工務店	県内
2	株式会社戸高コーポレーション	県内
3	株式会社ごとう計画・設計	県内
4	株式会社岩切設計	県内
5	株式会社大仙	県内
6	株式会社坂下組	県内
7	株式会社新原産業	県内
8	株式会社乃村工藝社	県外
9	吉原建設株式会社	県内
10	株式会社志多組	県内
11	株式会社宮崎設計	県内
12	丸宮建設株式会社	県内
13	大和リース株式会社	県外
14	株式会社桜木組	県内

5 サウンディングにおける対話事項

- (1) 事業への関心
- (2) 参画を想定した場合のポジション（代表構成員、構成員等）
- (3) 令和10年12月完成を条件とした設計施工一括発注方式の概略工程
- (4) 県と受注者間でのリスク分担・役割分担

- (5) 事業費の妥当性・見込み
- (6) 県産スギ材を用いた木造、混構造の可能性
- (7) 事業実施にあたりネックとなり得るところ
- (8) 備品に関すること
- (9) 発注方式（一括発注か、分割発注か）
- (10) その他

6 対話でいただいた主な意見等（概要）

- (1) 事業への関心
 - ・全体として事業への関心はあるものの、都城農業高校に比べ宮崎大宮高校への関心の方が高い傾向であった。
 - ・都城農業高校については、専門性の高さや工期の厳しさから、慎重姿勢や見送りを検討する声が目立った。
- (2) 参画を想定した場合のポジション（代表構成員、構成員等）
 - ・ほとんどの事業者が、地元（県内）の事業者とのJVやパートナーシップを想定していた。
 - ・JVを組んでくれる事業者が見つかるか不安という声も多く聞かれた。
 - ・JVの構成要件等の緩和を求める声もあった。
- (3) 令和10年12月完成を条件とした設計施工一括発注方式の概略工程
 - ・全体的にスケジュールが非常に厳しいという意見が圧倒的多数であった。
 - ・都城農業高校に関しては、建築確認申請（省エネ法適合判定等）の期間や専門的な調整が多く「現実的ではない」「工期の見直しが必要」との指摘があった。
- (4) 県と受注者間でのリスク分担・役割分担
 - ・中東情勢や地震被害等による資材の納期遅延、物価上昇、働き方改革への対応等により、公告時点の積算と実際の工事費用に大きな乖離が生じる懸念があるとの声が多く聞かれた。
 - ・費用変動に対する物価スライド（スライド協議）に確実に応じてもらえるか、またその取扱いが約款等で示されることが重要との指摘があった。
- (5) 事業費の妥当性・見込み
 - ・物価高騰や資材・労務単価の上昇を強く懸念しており、特に宮崎大宮高校の想定予算に対して、金額が厳しい（実際はより高額になる）という意見があった。
 - ・変更契約による物価スライドの適用を求める声が多く聞かれた。

- (6) 県産スギ材を用いた木造、混構造の可能性
- ・設計難易度やコスト増、耐火対策、県内における木の構造計算の対応力不足などの理由から、全面木造や混構造には消極的な意見が多数を占めた。
 - ・S造（鉄骨造）を基本とし、部分的な木質化や県産材利用にとどめるのが現実的との意見が多く聞かれた。
 - ・牛舎や豚舎においては、鉄骨はアンモニアや水洗いにより腐食が進むため木造が多いとの意見があった。
- (7) 事業実施にあたりネックとなり得るところ
- ・タイトすぎる工期
 - ・都城農業高校の設備に係る専門的な設計事業所・業者の確保
 - ・リスクに対する補償や救済措置がない中での「工期必達」を条件とされること
- (8) 備品に関すること
- ・施設整備との一体発注自体は問題ない。
ただし、備品や専門機器（農業・畜産・厨房等）に関する情報や仕様等、見積りの前提が不足しているため、事前の詳細な情報やメーカー名等の提示が欲しいとの強い要望が示された。
- (9) 発注方式（一括発注か、分割発注か）
- ・「一括にしてほしい（進捗や管理の面でメリットがある）」「分割だと大宮に業者が偏る」という意見がある一方で、「一括だと手を上げるのはリソース的に不可能」という意見もあった。
 - ・都城農業高校の本校及び郡元農場、三股牧場の2本についても、三股農場の専門性が高いため「一括が良い」「分割が良い」というどちらの意見も聞かれた。
- (10) その他
- ・畜舎は牛・豚・鶏等の家畜種別により専門業者が異なる。
 - ・温室は育てる作物によって仕様、設備の提案内容が変わるので、何を作るかを示してほしい。
 - ・具体的な空間・規模を要求水準書に明記してほしい。
 - ・参加資格について、民間の実績も含めた幅広い要件設定や、DB（設計施工一括）実績の適切な評価をしてほしい。
 - ・家畜伝染病予防に関する要件もあらかじめ明確に示してほしい。

7 今後について

今回のサウンディングで参加者からいただいた御提案や御意見は、事業計画や事業条件等の検討において、参考にさせていただきます。